

■取組の背景

- 農林水産省の調査結果より、R3年10～12月の期間内で、国内小売店におけるアサリ販売量の約80%が、熊本県産として販売されていることが判明した。
- 同時に、熊本県産として販売されていたアサリの97%は外国産の可能性が高いことが明らかとなり、アサリ産地偽装の根絶を図ることが求められていた。

■取組の目的

- 熊本県産アサリのトレーサビリティシステムの構築
- 熊本県産アサリのブランド再生の実現

■協議会の構成員と役割

	段階	名称	役割
事業実施者	生産	熊本県漁業協同組合連合会	・トレーサビリティシステムの仕様検討
	流通	大海水産株式会社	・トレーサビリティシステムの実証
	販売	熊本県鮮魚販売組合連合会	・トレーサビリティシステムの実証
	システム構築	株式会社デンソー	・トレーサビリティシステムの開発・改良等
	協議会運営	熊本県	・トレーサビリティシステムの仕様検討 ・事業取りまとめ

■取組内容

◆トレーサビリティシステムの構築

- ✓ **トレーサビリティシステムの仕様検討**▶ 熊本県産アサリを消費者に確実に届けるための流通体制を構築するため、トレーサビリティシステムの仕様について、関係者間で協議・検討を進める
- ✓ **トレーサビリティシステムの実証**▶ QRコード等のデジタル技術を活用した **トレーサビリティシステムを** **実証**。トレーサビリティシステムを利用する各流通段階の関係者からの意見を受けて、随時改良を行う

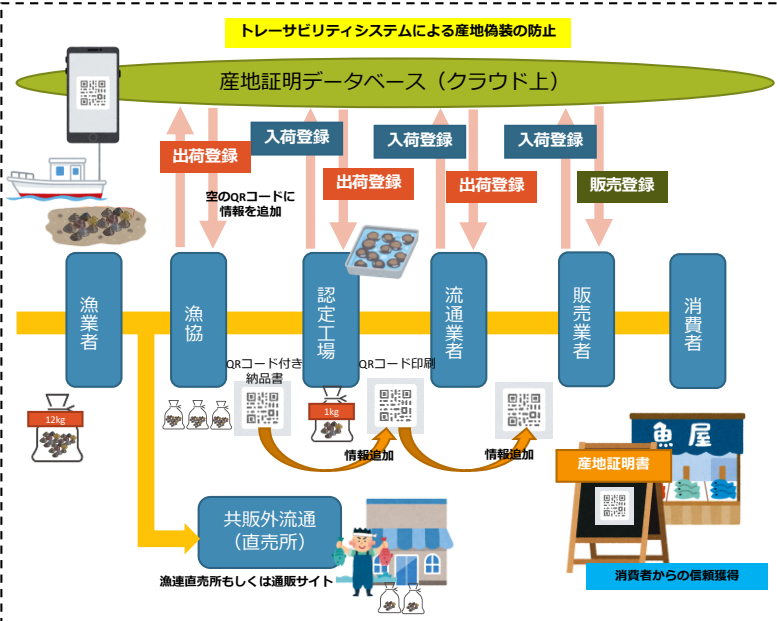
◆トレーサビリティシステムを用いた熊本県産アサリの流通

- ✓ **販売協力店によるトレーサビリティシステムを用いた県産アサリの流通**▶ トレーサビリティシステムの仕様や目的について理解いただいた事業者を販売協力店とし、**トレーサビリティシステムを用いた県産アサリの販売**を行う。
- ✓ **店頭におけるQRコードの掲示**▶ トレーサビリティ情報が集約されたQRコードは店頭に掲示し、消費者がトレーサビリティ情報を閲覧可能な状態にすることで、**消費者が安心して県産アサリを購入することができる体制を構築**

◆熊本県産アサリのブランド力向上

- ✓ **熊本県産アサリのPR内容や販促フェアの検討**▶ 熊本県産アサリのPRに向けた、**販促フェア等の内容について関係者間で検討を行う**

■取組の概要



■取組の現状と今後の展望

- ▶ トレーサビリティシステムを用いて熊本県産アサリの販売を実施。
- ▶ システム導入後は水揚げされた熊本県産アサリの100%が当システムを通じて販売された。
- ▶ トレーサビリティシステムを導入する販売協力店の数は徐々に拡大中。
- ▶ 今後も販売協力店の拡大とともに、システムの微調整を行いつつ、トレーサビリティシステムを用いた販売を継続。

★本取組によって得られたバリュー★

AI・DXの活用（課題解決）

熊本県産アサリのトレーサビリティシステムの確立

付加価値向上

熊本県産アサリのブランド力の再生